

宮崎県感染症週報

■ 宮崎県第26週の発生動向

定点医療機関からの報告総数は1,405人(定点あたり41.2)で、前週比112%と増加した。

前週に比べ増加した主な疾患は手足口病とヘルパンギーナで、減少した主な疾患はインフルエンザと伝染性紅斑であった。

手足口病の報告数は461人(12.8)で前週比175%と増加した。例年同時期の定点あたり平均値(4.8)の約2.7倍と多い。県全体で警報レベルを超えており、延岡(29.8)、中央(18.0)、日向(16.0)保健所からの報告が多かった。年

齢別では1歳から3歳で全体の約8割を占めた。

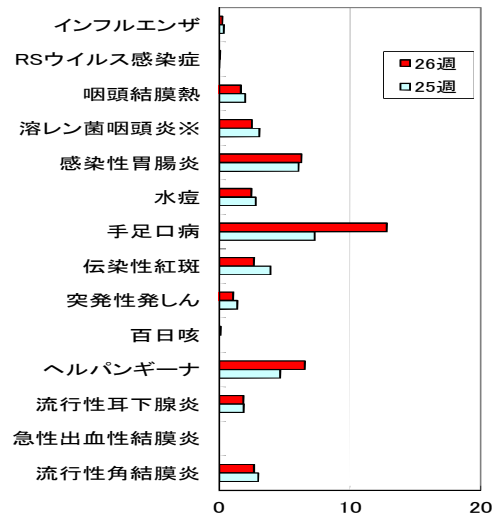
ヘルパンギーナの報告数は236人(6.6)で前週比140%と増加した。例年同時期の定点あたり平均値(4.7)の約1.4倍であった。県全体で警報レベルを超えており、日南(18.0)、都城(10.3)、小林(9.3)保健所からの報告が多かった。年齢別では1歳から3歳で全体の約7割を占めた。

無菌性髄膜炎1人が宮崎市保健所から報告された。患者は1ヶ月の女児であった。

□ 保健所別流行警報開始基準値超過疾患

保健所名	流行警報開始基準値超過疾患
宮崎市	手足口病(10.7)、伝染性紅斑(2.3)
都城	手足口病(11.5)、伝染性紅斑(2.3)、ヘルパンギーナ(10.3)
延岡	咽頭結膜熱(3.5)、水痘(8.3)、手足口病(29.8)、伝染性紅斑(4.0)
日南	咽頭結膜熱(4.7)、手足口病(8.3)、伝染性紅斑(3.7)、ヘルパンギーナ(18.0)
小林	手足口病(11.7)、ヘルパンギーナ(9.3)
高鍋	手足口病(6.0)、伝染性紅斑(3.5)
高千穂	なし
日向	手足口病(16.0)、伝染性紅斑(4.5)
中央	手足口病(18.0)、ヘルパンギーナ(6.0)

《前週との比較》



《定数あたり報告数》
※A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

□ 疾患別流行警報開始基準値超過疾患

	流行警報開始基準値	定点あたり報告数		年齢分布
		宮崎県全体	基準値を超えた保健所	
咽頭結膜熱	3	1.7	日南(4.7)、延岡(3.5)	1歳~5歳で全体の約8割を占めた。
水痘	7	2.5	延岡(8.3)	1歳~3歳で全体の約7割を占めた。
手足口病	5	12.8	延岡(29.8)、中央(18.0)、日向(16.0)、小林(11.7)、都城(11.5)、宮崎市(10.7)、日南(8.3)、高鍋(6.0)	1歳~3歳で全体の約8割を占めた。
伝染性紅斑	2	2.7	日向(4.5)、延岡(4.0)、日南(3.7)、高鍋(3.5)、宮崎市・都城(各2.3)	3歳~6歳で全体の約6割を占めた。
ヘルパンギーナ	6	6.6	日南(18.0)、都城(10.3)、小林(9.3)、中央(6.0)	1歳~3歳で全体の約7割を占めた。

※ヘルパンギーナは第26週において流行警報開始基準値6を上回ったため、流行警報が発令されました。

■ 全数把握対象疾患

- 1 類感染症 : 報告なし。
- 2 類感染症 : 結核 6 例が宮崎市・日南 (各 2 例)、都城・延岡 (各 1 例) 保健所から報告された。
《宮崎市保健所》・60 歳代の女性で結核性胸膜炎。発熱がみられた。
・60 歳代の男性で肺結核。咳、痰、呼吸困難がみられた。
《都城保健所》・70 歳代の男性で肺結核。
《延岡保健所》・80 歳代の男性で肺結核。咳、痰がみられた。
《日南保健所》・20 歳代の男性で無症状病原体保有者。
・20 歳代の男性で無症状病原体保有者。
- 3 類感染症 : 腸管出血性大腸菌感染症 3 例が日南 (2 例)、都城 (1 例) 保健所から報告された。
《都城保健所》・1 歳の男児で水様性下痢がみられた。原因菌は O26 (VT 産生)。
《日南保健所》・11 ヶ月の女児で水様性下痢、発熱がみられた。原因菌は O26 (VT1 産生)。
・3 歳の男児で腹痛、水様性下痢、血便、嘔吐、発熱がみられた。原因菌は O157 (VT1、VT2 産生)。
- 4 類感染症 : 報告なし。
- 5 類感染症 : 報告なし。

■ 病原体情報 (衛生環境研究所 微生物部)

□ 細菌 (平成 23 年 6 月 21 日～平成 23 年 7 月 4 日までに検出)

同定細菌名	年齢(歳)	性別	採取月日	臨床症状等	検出材料	検出日
<i>Salmonella</i> Schwarzengrund (O4:d:1,7)	30代前半	女	2011.6.10		便	2011.6.23

□ ウイルス (平成 23 年 6 月 21 日～平成 23 年 7 月 4 日までに検出)

報告なし。

■ 全国第 25 週の発生動向

定点医療機関あたりの患者報告総数は 20.2 で、前週比 111%と増加した。今週増加した主な疾患は手足口病とヘルパンギーナで、減少した主な疾患はインフルエンザと水痘であった。

手足口病の報告数は 13,381 人 (4.3) で、前週比 164%と増加した。佐賀県 (21.5)、福岡県 (21.1)、徳島県 (15.9) からの報告が多く、年齢別では 1 歳から 4 歳で全体の約 8 割を占めた。

ヘルパンギーナの報告数は 4,366 人 (1.4) で、前週比 162%と増加した。鹿児島県 (7.4)、徳島県 (7.2)、香川県 (6.1) からの報告が多く、年齢別では 1 歳から 4 歳で全体の約 7 割を占めた。

□ 全数把握対象疾患

- 1 類感染症 : 報告なし。
- 2 類感染症 : 結核 345 例
- 3 類感染症 : 細菌性赤痢 5 例、腸管出血性大腸菌感染症 83 例
- 4 類感染症 : E 型肝炎 2 例、A 型肝炎 1 例、エキノコックス症 1 例、つつが虫病 8 例、デング熱 1 例、レジオネラ症 12 例
- 5 類感染症 : アメーバ赤痢 6 例、ウイルス性肝炎 2 例、急性脳炎 4 例、クロイツフェルト・ヤコブ病 2 例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症 3 例、後天性免疫不全症候群 20 例、ジアルジア症 1 例、梅毒 10 例、破傷風 1 例、風疹 11 例、麻疹 12 例

宮崎県 感染症情報

(72定点医療機関)

2011年 第26週(06月27日～07月03日)

疾病名		第25週	第26週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	22	15		4	1		2			2	6
	定点あたり	0.37	0.25	0.00	0.40	0.14	0.00	0.40	0.00	0.00	0.33	3.00
RSウイルス 感染症	報告数	1	3	1	1	1						
	定点あたり	0.03	0.08	0.10	0.17	0.25	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
咽頭結膜熱	報告数	72	60	4	13	14	14	1	6		8	
	定点あたり	2.00	1.67	0.40	2.17	3.50	4.67	0.33	1.50	0.00	2.00	0.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	111	90	23	13	17	9	3	8	6	9	2
	定点あたり	3.08	2.50	2.30	2.17	4.25	3.00	1.00	2.00	6.00	2.25	2.00
感染性胃腸炎	報告数	219	227	34	60	11	18	43	17	5	29	10
	定点あたり	6.08	6.31	3.40	10.00	2.75	6.00	14.33	4.25	5.00	7.25	10.00
水痘	報告数	101	89	22	7	33	3	10	6		6	2
	定点あたり	2.81	2.47	2.20	1.17	8.25	1.00	3.33	1.50	0.00	1.50	2.00
手足口病	報告数	263	461	107	69	119	25	35	24		64	18
	定点あたり	7.31	12.81	10.70	11.50	29.75	8.33	11.67	6.00	0.00	16.00	18.00
伝染性紅斑	報告数	141	96	23	14	16	11		14		18	
	定点あたり	3.92	2.67	2.30	2.33	4.00	3.67	0.00	3.50	0.00	4.50	0.00
突発性発しん	報告数	50	39	8	8	6	3	3	1		8	2
	定点あたり	1.39	1.08	0.80	1.33	1.50	1.00	1.00	0.25	0.00	2.00	2.00
百日咳	報告数		5		5							
	定点あたり	0.00	0.14	0.00	0.83	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	168	236	40	62	10	54	28	14		22	6
	定点あたり	4.67	6.56	4.00	10.33	2.50	18.00	9.33	3.50	0.00	5.50	6.00
流行性耳下腺炎	報告数	68	67	45		2	8	1	5	2	1	3
	定点あたり	1.89	1.86	4.50	0.00	0.50	2.67	0.33	1.25	2.00	0.25	3.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	18	16	12	1	3						
	定点あたり	3.00	2.67	4.00	0.50	3.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数		1	1								
	定点あたり	0.00	0.14	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ肺炎	報告数	2										
	定点あたり	0.29	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

上段:報告数
下段:定点当り報告数

●全数把握対象疾患累積報告数(2011年第1週～26週)

2類感染症	結核	141例(6)				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	21例(3)				
4類感染症	A型肝炎	1例	チクングニア熱	1例	つつが虫病	2例
	日本紅斑熱	1例				
5類感染症	アメーバ赤痢	7例	ウイルス性肝炎	1例	急性脳炎	3例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1例	髄膜炎菌性髄膜炎	2例	後天性免疫不全症候群	6例
	梅毒	5例	破傷風	5例	風しん	1例
	麻疹	1例				

●動物感染症累積報告数(2011年1週～26週)(参考)

指定感染症	鳥インフルエンザ(H5N1)の鳥類	20例
-------	-------------------	-----

()内は今週届出分、再掲